

病気の予防

※年齢は年度末年齢

- 特定健診(年間 40~74歳の被扶養者)
- 特定保健指導(年間)
40~74歳の被保険者・被扶養者で基準該当者に保健指導を実施(「動機付け支援」「積極的支援」)
- 法定外健診(定期健診時に実施 被保険者)
 - ◆心電図検査/36~39歳
 - ◆血液検査/19~34歳、36~39歳
 - ◆眼底検査/40歳以上
 - ◆C型肝炎検査/30歳
 - ◆前立腺がん検査/50・55・60歳(男性)
- 胃検診
(定期健診時に実施 30歳以上被保険者の希望者)
30歳被保険者のみ全員対象
- 乳がん・子宮がん検診
(全豊田地域巡回健診時に実施
女性被保険者の希望者)
- 自宅でできる郵送がん検診(1~3月)
(年内にがん検診を受けていない被保険者・被扶養者)
 - ◆肺がん検診/40歳以上
 - ◆大腸がん検診(便潜血検査)/35歳以上
35歳被保険者のみ全員対象
 - ◆胃がんリスク検診(血液検査)/30歳以上
- 全豊田地域巡回健診
(30歳以上被扶養者と任意継続被保険者本人)
- 人間ドック
(30歳以上被扶養者と任意継続被保険者本人)
- 脳ドック(50歳以上被保険者と被扶養者の希望者)
- 歯科健診(被保険者と被扶養者の希望者)
- 生活習慣病の重症化予防
生活習慣病発症者および発症予備群の被保険者を対象に開催(健康づくり教室・ICT活用プログラム)
- 節目年齢 生活習慣病予防講習会
(25・30・35歳の被保険者)
- インフルエンザ予防接種補助
(秋 65歳以上の高齢者および小学生までの子ども)
- 家庭常備薬の斡旋補助(春・秋)

令和6年度 保健事業



保健事業のPR

- 機関誌「けんぽだより」配付(年4回)
- 健康づくり応援サイト「Pep Up」運営
 - ◆アイチ健歩活動(4~6月、10~12月)
 - ◆健診値改善チャレンジ(春or秋)
 - ◆健康クイズチャレンジ(夏)
 - ◆体重測定チャレンジ(冬)
 - ◆健康チャレンジ(夏・冬)
- 医療給付通知書発行(毎月)
- ジェネリック利用促進のご案内
(年4回 今年度よりペーパーレス化のためWeb通知のみ)
- 医療費適正化事業：ポリファーマシー通知発送
(冬 重複受診、頻回受診の注意喚起)
- ホームページの運営
- 前期高齢者家庭訪問指導(随時)
- 受診勧奨通知発送



心身の保養

- ホテル・ド・マロニエ施設利用契約(年間)
- リゾートトラスト施設利用契約(年間)
- まつみや・はや河・その他施設の利用補助(年間)

家庭常備薬等の補助斡旋のお知らせ

「家庭常備薬等の補助斡旋 無償配布のご案内・申込書」は、本誌の最後のページにてお知らせしております。
申込書のキリトリ線に沿ってハサミ等で切り離して、ご活用ください。



健康保険

予算のあらまし

科目	予算額(千円)
保険料(調整保険料含む)	2,547,882
国庫負担金収入・その他	576
繰入金	20,592
国庫補助金収入	1,005
財政調整事業交付金	10,000
雑収入	14,391
合計	2,594,446
事務費	28,131
保険給付費	1,383,069
納付金	951,983
前期高齢者納付金	313,416
後期高齢者支援金	638,561
病床転換支援金等	2
退職者給付拠出金	4
保健事業費	79,782
還付金	2,028
財政調整事業拠出金	34,886
連合会費	1,219
雑支出	2,348
予備費	111,000
合計	2,594,446

予算編成の基礎となった数値

- 被保険者数 4,309人
男 3,768人
女 541人
- 平均標準報酬月額 416,715円
男 435,967円
女 283,114円
- 総標準賞与額(年間合計) 71.71億円
- 平均年齢 43.56歳
男 43.99歳
女 40.56歳
- 被扶養者数 3,594人
- 被保険者1人当たりの扶養者数 0.83人
- 前期高齢者加入率 2.346%
- 保険料率(調整保険料率含む) 8.9%
事業主 5.2197%
被保険者 3.6803%



令和6年度 予算のお知らせ

積極的な健康づくりで すこやかな毎日を!

みなさんご家族の健康をお守りする愛知製鋼健康保険組合の令和6年度予算と事業計画がまとまりましたのでお知らせします。

令和6年度は予算総額25億9,444万6千円で、みなさんご家族の健康をサポートしてまいります。
医療従事者の処遇改善等に焦点が置かれた今年度の診療報酬改定では、初・再診料を始めとする医療サービス価格の引き上げが行われます。それに伴い、みなさんご家族の医療費にあてる保険給付費の増加が見込まれるほか、団塊の世代全員が後期高齢者となる令和7年が目前となり、高齢者の医療制度を支えるための納付金の増加予想も相まって、健康保険組合の運営は予算を許さぬ状況が続きます。
みなさんにおかれましては、当健康保険組合の各種保健事業(次ページ参照)を活用され、ご家族そろって健康な1年をお過ごしいただきますようお願いいたします。

介護保険

予算のあらまし

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介護保険収入	351,217	139,816
雑収入	3	1
合計	351,220	139,817
介護納付金	308,483	122,804
介護保険料還付金	300	119
積立金	42,437	16,894
合計	351,220	139,817

予算編成の基礎となった数値

- 介護保険第2号被保険者数 3,431人
- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数 2,407人
- 平均標準報酬月額 483,517円
- 総標準賞与額(年間合計) 50.60億円
- 介護保険料率 1.8%
事業主 0.9%
被保険者 0.9%

令和6年12月2日 保険証は廃止に!

切り替えはお早めに
使ってみよう!

マイナ保険証

現在の保険証は今年12月2日に廃止されて、マイナンバーカードに一体化されますが、**当健保組合の利用率は4%***(全国平均3.6%)です。
できるだけ早くマイナ保険証に切り替えてください!

※2023年11月時点(2024年11月時点の目標利用率は50%)



マイナ保険証の使い方の
動画はコチラ(厚生労働省)



マイナ保険証…保険証利用の登録をしたマイナンバーカードのこと

持って **安心**

マイナ保険証の特徴

使って **便利**

質のよい医療が受けられる



マイナ保険証で受診すると、
あなたのお薬や診療の情報、
健診結果を医師が確認できます。
正確な情報をもとに質のよい
医療が受けられます。
※本人が同意した場合のみ



旅行時や
災害時など、
緊急で医療を
受けたいときも
安心です。

高額な窓口負担が手続きなしで軽減



医療費が高額になるとき、マイ
ナ保険証で受診すると「限度額
適用認定証」なしで窓口負担が
軽減されます。

さらに、マイナポータルでは
医療費通知情報が
入手でき、
医療費控除の確定申告も
簡単になります。



マイナンバーカードを保険証として利用できるようにするには？

マイナンバーカードを保険証として利用できるようにするには、**ご自身で「保険証利用の登録」が必要**です(登録は1回のみ)。
急な病気のときにあわてないよう、早めに登録してください。

保険証利用の登録は
ここでできます

実証ベータ版
マイナポータル

医療機関窓口の
カードリーダー

セブン銀行ATM

市区町村の窓口

マイナンバーカード
の保険証利用
申し込みの動画は
コチラ
(厚生労働省)

マイナ保険証によるオンライン資格確認で、不正利用防止や医療機関の業務負担軽減
にもつながります。
医療機関ではマイナ保険証をご利用ください。

マイナンバーカードを
お持ちでない方はコチラ
(マイナンバーカード総合サイト)



便利だからこそ気をつけたいポイント

有効期限切れに注意

マイナンバーカードの有効期限が
切れていると、保険証として使用でき
ません。

紛失に注意

マイナンバーカードには個人情報
が含まれているため、紛失時は機能停
止の手続きが必要です。

再発行に時間がかかる

マイナンバーカードの再発行には警
察・市区町村への届出が必要のため、
時間がかかる場合があります。

令和6年4月より

『第3期データヘルス計画』がスタート!

データヘルス計画とは…



すべての健保組合に対し、健診や医療費のデータ分析に基づく、加入者の健康状態に合わせた効果的・効率的な保健事業計画の実施が求められています。この事業計画のことを『データヘルス計画』といいます。

データヘルス計画では、Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Act(改善)のPDCAサイクルに沿った事業運営を行い、「健康寿命の延伸」と「医療費適正化」を同時に図ることをめざしています。

当健保組合の重点実施事業

特定保健指導

40～74歳の方で、健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクが高く、生活習慣の改善が必要な方への保健指導

生活習慣病 重症化予防事業

生活習慣病の治療中にもかかわらず、健診結果の数値が思わしくない方への健康指導

生活習慣病 発症予防事業 (節目年齢教育)

25歳、30歳、35歳の被保険者に対する生活習慣病予防教育(1日出張型研修)

健診後の受診勧奨

定期健診の結果、医療機関への受診が必要と思われる方への受診勧奨



診療所歯科健診

歯科医師会と連携した
歯科医院での
無料歯科健診
(10月開始予定)



アイチ健歩活動

推進強化期間(3ヵ月間)の
トータル歩数80万歩をめざして
歩くウォーキングイベント



前期高齢者家庭訪問事業



前期高齢者(65～74歳)
に対する自宅訪問での
健康相談、健康指導

